

5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類から5類になって、行動制限がなくなりマスクの着用も任意となりました。以来、コロナウイルス感染者は徐々に増えており、第9波と言ってもよいような状態に至っています。また、小児科ではこの3年間その他の感染症が流行しなかったことと、それに伴い免疫がついていない人や薄れてしまった人が多くなったことから、様々な感染症が一齐に流行する事態となっています。まさに「3年分の感染症が一度に襲ってきた」と言っても大げさではありません。特に3歳までの全く免疫のついていない児は、集団生活をする事によって様々な感染症にかかり、毎週のように発熱している新入園児もいらっしゃいます。本人もたいへんですが、ご両親のご苦労もたいへんなこととお察しします。しかし、定期予防接種が普及したお蔭で、重篤な感染症が見られていないのはよかったですと思います。

【最近目立つ病気】

本当に、3年分のツケが一気にきている印象を受けます。この3年間のコロナ禍で各種感染症に免疫を持たない人が増加し、人々の交流が解禁になった途端に感染症の波が押し寄せてきました。まるで感染症の津波のように感じます。特に免疫がない新入園児は集団生活の中で毎週のように新たな感染症にかかり、治りきらない内に次の感染症にかかってしまい、ずっと咳や鼻汁が止まらない状況です。

具体的には、RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、胃腸炎、ヘルパンギーナ・手足口病といった夏風邪ウイルスが目立ちます。それらに比べると少ないですが、溶連菌感染症、アデノウイルス感染症もみられます。また、季節はずれのインフルエンザも今年は散発しています。このままの状態では次のインフルエンザ流行シーズンにつながっていくのかもしれませんが、3密（密閉・密集・密接）を避けて、手洗い励行、マスクの着用が感染症予防の基本です。もう一度、気持ちを引き締めて日常生活を送りましょう。

【ヒトメタニューモウイルス】

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症をひきおこすウイルスの一種です。1～3歳の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。小児の呼吸器感染症の5～10%、大人の呼吸器感染症の2～4%は、ヒトメタニューモウイルスが原因と考えられています。とくに乳幼児や高齢者では重症化することもあり、注意が必要です。

（主な症状）

症状はRSウイルス感染症と似ています。成人も含めて多くの場合は上気道炎（喉や鼻の風邪）症状のみですが、0～5歳の乳幼児や高齢者に感染すると気管支炎や肺炎を起こすことがあります。重症化すると呼吸困難に陥ることがあります。

（特徴）

ヒトメタニューモウイルスに感染しても、1週間程度で症状は治まります。しかし、1回の感染では免疫が獲得できません。何度か繰り返して感染してしましますが、年齢が上

がるにつれて徐々に免疫がつき、症状が軽くなる傾向にあります。ヒトメタニューモウイルスは、ウイルスの遺伝子も感染症の症状もRSウイルスに似ており、症状も見た目だけでは診断できません。6歳未満の症状が強い児には、ヒトメタニューモウイルスの迅速診断キットを使い、診断をつけることができます。

（治療）

基本は対症療法です。ヒトメタニューモウイルスだけに感染している場合は、各症状を楽にするための対症療法を行います。水分をしっかりとり、適温にして、ゆっくりと休みましょう。

（細菌の同時感染にも注意）

ヒトメタニューモウイルスと同時に細菌にも感染してしまうことも少なくありません。ヒトメタニューモウイルスに感染し、熱が5日以上続く場合は、細菌にも感染している可能性があり、その場合は、抗菌薬を処方します。熱が長引く時は中耳炎や細菌による肺炎などをおこしていることがあります。また、抗菌薬は指示通りにきちんと飲みましょう。

（感染対策）

ヒトメタニューモウイルスは、咳やくしゃみで吐き出されたウイルスが付いてしまったり（飛沫感染）、気がつかないうちにウイルスに触れてしまったり（接触感染）することで感染が広がります。保育園・幼稚園や小学校などでの集団感染に注意してください。家に帰ってきたら、手洗い・うがいを徹底しましょう。また、家庭内感染がよくあります。お子さまの調子がよくない時は、マスクの着用、タオルや食器を分けるなどの感染対策をしましょう。

【コロナワクチン秋接種】

新型コロナウイルスのワクチン接種は来年3月まで無料で行われ、現在は高齢者や基礎疾患のある人など重症化リスクが高い人を対象に実施されています。

一方、国内でオミクロン株の派生型を中心に感染が拡大し、重症化リスクが高くない人にも一定程度、重症者が確認されていることから、厚生労働省は、8月9日の専門家分科会でオミクロン株の派生型に対応し

たワクチン接種について、生後6か月以上のすべての人を対象に9月20日から行う方針を示し、了承されました。使用するワクチンは流行の主流となっているオミクロン株の派生型の「XBB」系統に対応するもので、今後、承認の手続きが行われます。また、法律に基づいて、自治体が接種券を送付するなどして勧める「接種勧奨」や接種を受けるよう努めなければならないとする「努力義務」の規定については、今回は、重症化リスクの高い人にも適用するということとです。

また、来年度以降の接種については、対象者や費用負担のあり方などについて、あらためて部会で議論したうえで決めるとしています。



☆西念の駅西福祉健康センター内の金沢広域急病センター（Tel:222-0099）では午後7時30分から11時まで小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は11/2の予定です。なお9/17は当番医です。

☆金沢市では乳幼児の任意接種のワクチンについての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆当院のHp（<https://kabata-cl.jp>）から順番待ちシステムにアクセスできます。ネットで順番予約ができますので、ご利用ください。

☆10月10日（火）から10月14日（土）まで院内改装のため休診いたします。ご迷惑をおかけしますが、よろしく申し上げます。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

